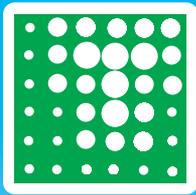


空中散布・無人航空機散布用殺虫剤



トレボンエア[®]

有効成分：エトフェンブロックス 10.0%

トレボンエア[®]は三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です

空散・無人航空機散布で 主要害虫にしっかり効きます。



特長

1

空中散布、無人航空機散布で水稻・小麦・だいず・あずき・やまのいも・しょうが・ばれいしょ・キャベツ・だいこん・ブロッコリー・はくさい・レタス・ねぎ・えだまめの害虫防除に効果を発揮します。

2

カメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイ・コブノメイガ・アズキノメイガ・ハスモンヨトウなどの防除に有効です。

3

有効成分を水中に乳化分散した水ベースの製剤です。有機溶媒の臭いが少ないのも特長です。



アカスジカスミカメ



クモヘリカメムシ



ヒメトビウンカ



コブノメイガ



ハスモンヨトウ



トレボンエアー®

人畜毒性：普通物※

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

■適用害虫および使用方法

(2023年2月8日現在の登録内容)

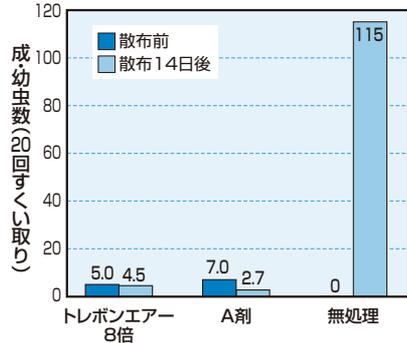
作物名	適用害虫名	希釈倍数	10aあたり 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを 含む農薬の総使用回数				
稲	コブノメイガ、イナゴ類 ウンカ類、カメムシ類 ツマグロヨコバイ	30倍	3ℓ	収穫14日前まで	3回以内	空中散布	3回以内				
	イナゴ類、ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ										
	フタオビコヤガ コブノメイガ、イナゴ類 ウンカ類、カメムシ類 ツマグロヨコバイ										
麦類	ヒメトビウンカ	8倍	1.6ℓ	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	2回以内				
ばれいしょ	アブラムシ類			収穫14日前まで							
レタス	アブラムシ類、ヨトウムシ アオムシ			収穫3日前まで							
キャベツ				収穫21日前まで							
だいこん				収穫7日前まで							
はくさい				収穫前日まで							
ブロッコリー	アオムシ			0.8ℓ				0.8ℓ	収穫21日前まで	2回以内	2回以内
ねぎ	シロイチモジトウ										
だいず	ハスモンヨトウ、カメムシ類 マメシクイガ、ツメクサガ			1.6ℓ				1.6ℓ	収穫14日前まで	3回以内	3回以内
えだまめ	アズキノメイガ										
あずき											
しょうが	アワノメイガ	3.2ℓ	3.2ℓ	収穫7日前まで	3回以内	3回以内					
やまのいも	ヤマノイモコガ、アブラムシ類			収穫14日前まで							

■試験成績

◎水稲

●ヒメトビウンカ

1990年 北海道立中央農業試験場

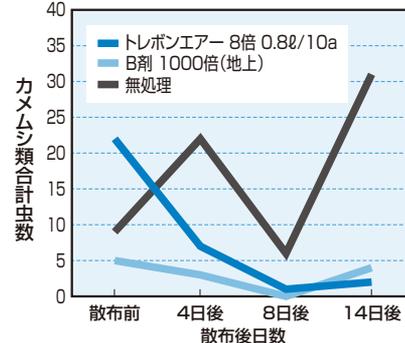


- 発生量：ヒメトビウンカ甚発生 アカヒゲホソドリカスミ カメ多発生
- 品種：ゆきひかり
- 散布方法：7月27日(出穂始め)に産業用無人ヘリコプターで散布。
- 調査方法：所定の時期に20回すくい取りにより成幼虫数を調査。

◎大豆

●カメムシ類

1994年 兵庫県病虫害防除所・兵庫県植物防疫協会



- 対象害虫の発生状況：やや少発生・優占種はホソヘリカメムシ・アオクサカメムシ
- 品種：丹波黒
- 試験規模：2ha、1区制
- 処理：9月8日に、無人ヘリコプターで所定量を散布。
- 調査：所定の日時に、各試験区任意の50株を対象にカメムシ密度を調査。

⚠️使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
- 少量散布の際には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
- 無人航空機による散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 畜に対して長期間強い毒性があるので、薬液の飛散により粟の莖葉を汚染することのないように粟園のある地帯では使用しないでください。なお、実施にあつては、事前に畜業関係者と安全対策について十分協議してください。
- 散布器具、作業衣等は農用と必ず区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

- ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
- 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 作業終了後は次の事項を守ってください。
 - ①使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - ②機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、病虫害防除等関係機関の指導を受けてください。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注

- 意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 無人航空機の操作の際は、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい・洗顔してください。
- 水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用はさけてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので十分注意してください。
- 空中散布又は無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

万一、誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。
皮膚や眼にかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記載しましょう。

*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。
*本印刷物は2023年2月8日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例にあてはまるものではありません。

2412(24-7)